



出水高校だより

第十三号 令和三年九月六日

学校の縁の下の力持ち 放送部にインタビュー

朝や掃除時間に放送したり、学校行事で進行を務めたり……、決して目立つことではないけれど、学校になくてはならない放送部。今回は放送部員の小豆野優華さんと花木啓大さん(ともに二年生)に、放送部の日常の活動について、じっくり話を聞くことができました。



小豆野さんと花木さん

— 部員は何人ですか。

(小)今は、二年生が六人、一年生が三人です。

— 普段はどんな活動をしているのですか。

(花)県の高校放送コンテストに向けてドラマ制作をしたり、学校紹介用の動画を作ったりしています。あと、学校行事の直前になったら、撮影や録音の機材を組み立てて、本番に向けた準備をします。

— 放送部員でないとい分らない苦労もあるのでしようね。

(小)脚本を書くのは大変



機材を使いこなす(文化祭)

ですね。また、機材を使いこなせるようになるまでは、結構時間がかかります。

— 失敗もありますか。

(花)中学生の一日体験入学の全体会の時に、動画再生をしようとしたら機材が突然動かなくなって、すごく焦りました。中学生の視線が自分に注がれているのが分かって、一分程度のブラントだったのですが、十分間くらいに感じました。

— では、どういうところにやりがいを感じますか。

(小)行事の間はずっと緊張していますけど、終わったときには達成感を感じます。

特にクラスの人から、「アナウンスすごくよかったよ」とほめられた時には、とてもうれしいです。



毎朝の放送(放送室)

— もともと人前で話をするのは得意なのですか。

(花)そういうふうによく聞かれるんですけど、人前で話すのって実は苦手なんです。めっちゃ緊張するタイプなんですよ(笑)。

— それは意外ですね。最後に、中学生の皆さんにメッセージをお願いします。

(小)映像に興味がある人や、ドラマ制作や脚本づくりをしてみたい人、アナウンスに挑戦してみたい人は、出水高校に入学したら、ぜひ放送部に入ってください。楽しいですよ。待っています。

九月十日(金)の体育祭でも、放送部員の皆さんが会場を盛り上げてくれることでしょう。放送部の活躍にこれからも注目したいです。

出水高校メルマガ 登録のすすめ

出水高校では、中学生保護者や地域の方々に向け、「**出水高校メルマガ**」を配信します。学校の話題をいち早くお届けします。どうぞご期待ください。また、お知り合いの方にもぜひご紹介ください。登録方法は本校ホームページをご覧ください。



登録案内